

## 9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	－	－	－
	やや良くなっている	スーパー（予算担当）	販売量の動き	・暑い日が続いているため、食品を中心に商品の回転が良くなっている。お盆期間の売上については、食品が前年比約10%増加している。ただし、原油高騰の影響で紙製品などの一部の生活雑貨は値上がりしており、買い控えがでている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・8月は天候が良く、売上は順調に推移した。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・8月はバーゲン期間中であり、天候に恵まれたため、紳士物のTシャツやポロシャツなどの軽衣料品の売上が好調であった。婦人物のパンツは低調であったが、紳士物の売上で十分カバーできた。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・土曜、日曜のフェアの来客数は前年並みであるが、新車の成約件数は前年比116.7%であり、前年を上回っている。その結果、1か月の販売量は前年比105.9%と伸びた。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・今年の8月の来客数は、昨年と比較して増加している。その理由は、会社の景気が良くなり資金的に余裕ができたこと、夏休みを十分に取れるようになってきたことなどである。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・例年より、夏休みの家族旅行が件数・金額ともに増加している。海外ではアジアなどの近場でなく、ヨーロッパ、オーストラリア、ハワイなど比較的遠隔地の高額商品の売上が良くなっている。国内では近場の温泉、各地の盆踊り、東京・大阪のテーマパークなどに人気が集まった。8月、9月に航空会社と提携してソウル旅行のキャンペーンを行っているが、予想以上の関心を集めており集客は順調である。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・来客数が昨年よりも増加している。
	変わらない	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・地方独特のお盆商戦は、昨年までの活気がなくお盆以降の商戦も大変厳しい状況である。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・8月1日から開催したリニューアル前の売りつくしセールにより、前年同月に比べ来客数、売上高共に増加したが、中元商戦については若干の前年割れで終了した。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・紳士服の動きは良いが、舶来時計や貴金属などの高額品の売上は依然として低迷している。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・必要な量しか買わない傾向が強くなっている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・毎週1回、冷凍食品半額セールを実施しているが、3か月前と比べ、セールの日に来店客が集中する傾向にある。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・残暑が厳しいため、例年より約1週間セールの延長をしたが、売上にはつながっていない。秋物衣料の客の反応は鈍く苦戦している。
家電量販店（営業担当）		販売量の動き	・レンジ、炊飯ジャーなどの白物家電が良く売れている。その他、クリーナー、扇風機等小型商品の販売量も増加しており、店内も多少活気が出ている。	
乗用車販売店（従業員）		販売量の動き	・例年8月の販売量の悪さには苦慮している。7月からの低迷を引きずっているようで、販売量が伸びていない。新型車が投入されるまでは現状が続く。	
都市型ホテル（経営者）		単価の動き	・来客数が若干増加しているが、単価の下落傾向が止まっておらず、相対的に売上高は変わらない。	
タクシー運転手		お客様の様子	・8月はお盆などで帰省しているが、よさこい祭りなども観光バスや自家用車を利用しており、タクシーの利用頻度が少ない。	
観光名所（経営者）		来客数の動き	・例年に比べ、梅雨明けが遅く、また、お盆に台風が九州に上陸したため、小豆島への観光客は大幅に減少した。	
設計事務所（職員）		競争相手の様子	・競争相手との値引き競争は継続中であり、値引き率も変動はあるものの、ほぼ安定してきている。リストラをしている業者もあるが大きな変化はない。	

		その他住宅（住宅ローンセンター）	お客様の様子	・客との会話から、景気の動向によって収入が増減したという話も聞かれず、地方の一般家庭の経済までは景気の動向が作用していない。	
やや悪くなっている		商店街（代表者）	来客数の動き	・月初めのお祭りには人出はあったが、お盆過ぎから来客数が減少している。特に土日は、学校が休みのため、学生が町中ではなく郊外店へ流れている。	
		一般小売店〔生花〕（経営者）	競争相手の様子	・例年、夏休み期間はバレエやピアノの発表会のための花束の注文が多いが、今年は発表会などのお祝いの花束の数が減少しており、単価も低下しているため売上高は減少している。少子化が影響しているのか、子供にかけられるお金の金額が昔と比べ減少している。	
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・夏祭りの観光客と帰省者が増加する8月は最盛期であるが、長梅雨と冷夏の影響で例年に比べてプレミアムビール以外は販売量、販売単価共に低調である。	
悪くなっている		商店街（代表者）	来客数の動き	・地方都市の景気は全く底入れ感がなく、この時期の金利上昇も景気にはマイナス材料である。大都市と地方都市、大企業と中小企業の景況感は全く違う。	
企業動向関連	良くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規の化粧品、環境に優しい洗剤やクリーナーが次第に認知され受注量が増加している。	
	やや良くなっている	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新商品の受注量が増加したため、売上高が増加している。	
		繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・良いものに対する受注が増加している。	
		通信業（営業担当）	それ以外	・会社を訪問した時に、レジャーの話題が増加し、有名ゴルフ場ほど予約が取れにくくなって来ているとの会話が増えている。	
	変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・大型クレーンの稼働率は相変わらず好調だが、地域間の格差はまだ残っている。高所作業車についても全体的に稼働率は活況であり、仕事量も豊富で見通しは明るい。	
		輸送業（支店長）	競争相手の様子	・盆明けの貨物量が低調であり、我慢できず、一部で運賃低下の動きも見られる。	
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・公共工事関連の企業は厳しい状態であり、倒産もあり得る状況のなかで、消費も進まず、厳しい状況である。	
		公認会計士	取引先の様子	・客の資産表や決算書などの対比表を見るとほとんどの業種で売上、利益は、改善されていない。	
	やや悪くなっている	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注を見る限り、関西方面の排ガス受注も一段落し、中国地区・九州地区がやや好調であったにすぎない。全国的にはメーカーの販売価格も資材高騰を吸収したため、全般的に低調だった。	
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は少なく、受注の案件があっても、遠くの企業と競合し、受注が大変困難な状況になっている。受注したとしても、単価が安い。	
建設業（総務担当）		受注量や販売量の動き	・工場・事務所の増築並びに改修工事の案件が増加しているが、金額的には少額で、全体的な受注残高は前年割れになっている。		
悪くなっている		—	—	—	
雇用関連	良くなっている		—	—	—
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（従業員）	採用者数の動き	・雇用する企業が景気回復傾向にあるため、採用者数を増やしている。	
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数の伸びが1年以上、前年比プラスで推移している。	
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	求職者数の動き	・客からのオーダーの数と求職者数のバランスが悪い。案件数は順調に推移しているが、登録者数は前年の約半分になっている。	
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・どの商店主に聞いても物が動かないと言われる。また、高知では、新規建築時や開店時に、新聞へ落成広告を掲載する習慣があるが、事業主の意欲が下がっており、しばらく低迷している。	
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数に増加が見られず、条件面でも低水準で推移している。	
学校〔大学〕（就職担当）		採用者数の動き	・新卒者への求人活動は活発でない。		

やや悪く なっている	民間職業紹介機 関（所長）	求職者数の動き	・8月は、特にUターン希望の登録者数が前年比4割 程度増加している。会社の業績不振のため香川へのU ターン希望を考えている人も多い。
悪く なっている	—	—	—